

第 2 編

特別委員会

● 主な内容

1. 規格委員会…………… 45
2. 広報出版委員会…………… 50
3. 安全衛生・環境委員会…………… 52
4. 特許委員会…………… 58
5. 国際活動委員会…………… 60

第2編 特別委員会

本編では、特別委員会

- 1) 規格委員会
- 2) 広報出版委員会
- 3) 安全衛生・環境委員会
- 4) 特許委員会
- 5) 国際活動委員会

この10年の活動記録がまとめられている。

- ・規格委員会では、溶接協会関連のさまざまな規格原案作成の努力がなされており、最近ではISOとの整合性もからみ、非常に多くの案件が審議された。またISOなど海外規格対応の活動にも重要な役割を果たしている。
- ・広報出版委員会は、ほとんど長年の慣行に従って行ってきた活動のための規約の整備を行い、委員会の出版の助成により出版の活性化を図った。
- ・安全衛生・環境委員会は、近年の産業での安全衛生や作業環境整備の意識の高まりを受けて、国内での溶接作業における規格整備や国際的な安全衛生関連規格のための活動を、これまで以上に積極的に展開した。
- ・特許委員会は、会員企業での特許活動を刺激するため注目発明賞の選定・授与や特許庁との懇談を通じての企業からの要望を伝える着実な活動を行った。
- ・国際活動委員会は、従来の国際友好の活動から一歩踏み出し、アジア溶接連盟(AWF)創設への主体的貢献、アジア各国との個別のMOUの締結と溶接分野での協力、溶接協会の溶接管理技術者制度に基づくアジア諸国での溶接管理技術者認証の実施を行った。